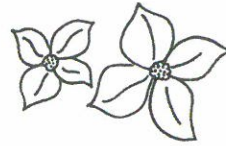




# やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじま子ども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(電) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

http://www.ichijima-kodomoen.com

子どもHP



<教育・保育理念>

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちからいっぱい

じぶんらしく

まっすぐに

## ご挨拶

理事長 西安五月

厳しかった冬の寒さも、日差しの温もりや 日没の時間にふと春を感じる季節となつてまいりました。毎年繰り返される季節の移ろいではありますが、どんなに厳しい冬であつても、梅の花は香り、桜はほころび始める自然の神秘に畏敬の念を抱かせられます。

さて、本年度もあとわずかとなりました。本年度は改正社会福祉法が施行された1年目であり、理事・監事・評議員も就任1年目という節目の年でありました。理事会運営や評議員制度の大きな変更もあり、手探りの運営を余儀なくされた部分もございましたが、役員、評議員がそれぞれの立場でご協力いただき、大過なく法人運営が出来ましたのも、保護者の皆様をはじめ地域の皆様の絶大なるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本年度は、制度の改正と併せて、施設の環境整備と保育教諭等の処遇改善に努めてまいりました。環境整備におきましては、美和保育園の時代から多くの園児の送迎を担ってくれた通園バスの更新、公用車の更新、壁掛け扇風機の設置、保育教材の充実に努め、保育教諭の処遇改善では、国の指導に基づいて、給与の改善に努めました。ただ、職員の処遇改善という意味では、給与面だけでなく、様々な働き方改革を実施していかなければならないと考えております。子どもたちが「子ども園に行きたい」「子ども園は楽しい」と感じるためには、子どもの成長に直接かかわる保育者が、元気で笑顔いっぱいであることが重要です。少しでも負担の軽減が図れるよう業務の見直しについても検討してまいります。中には保護者の皆様のご協力が必要なものがあるかもしれませんが、ご理解のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、子どもたちの成長は、子ども園だけで出来るものではありません。家庭、地域がそれぞれ手をつなぎ、一人ひとりに寄り添うことで「自尊感情」を育み、子どもたちが将来にわたって生きる力を身につけていくものと確信しております。今後とも、皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 倉橋惣三の言葉

春が来る。  
どこから来る。

垣根を越えてブランコの上からも来る。

まがき  
籬に沿って草からも来る。  
砂場の砂の日影からも来る。

子供たちをしてこの春を迎えしめよ。

この春と交らしめよ。  
この春に親しましめよ。

遊園へ遊園へ春の遊園へ。

「幼稚園雑草」より

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレイブル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

